

- [K3KEYAFXでAFXW.KEYをカスタマイズ](#)
- [標準出力結果を内蔵テキストビューアで閲覧](#)
  - [準備](#)
    - [afx\\_run\\_v2 Ver0.5を利用する場合](#)
    - [afx4v第壹拾貳版を使用する場合](#)
  - [pdfやdocを閲覧](#)
  - [mp3のエンコード情報・タグ情報を表示](#)
  - [画像情報を表示](#)
  - [MD5表示](#)
- [お気に入り登録フォルダへ移動](#)
  - [あふのぶっくまーく\(afxbkmk\)](#)
  - [Shorter Launcher + Yet Another あふこまんど\(w\)](#)
- [あふでゴミ箱](#)
- [窓パスの変更](#)
  - [fenrir からあふの窓パスを変更](#)
  - [GOw\(GO for Windows\) からあふの窓パスを変更](#)
- [あふ,あふwを外部から操作する](#)
  - [あふすくりぶた](#)
  - [「あふ」「あふw」を擬似タブ化](#)
- [xyzyy と連携](#)
  - [あふ・あふwで表示中のディレクトリをxyzyyでGrep](#)
  - [ディレクトリーツリーをxyzyyのカレントバッファに出力](#)
  - [「あふw」でxyzyy](#)
- [WAVEをAAC-LC\(.aac\)にエンコード、MP4コンテナ格納](#)
- [パスリストを書庫にみせかけて展開する](#)
- [書庫ファイル操作](#)
  - [Ariadne](#)
  - [ComArc - ArcConvert Commandline Version](#)

---

「afxckw/afxfind」以降を[其貳](#)に移動[2011-05-31]

---

「xyzyy 関連」修正復刻[2011-06-15]  
「窓パスの変更」等修正復刻[2011-06-15][2011-05-31]  
「Yet Another あふこまんど(w)」復刻・加筆[2011-05-13]  
「afxbkmk,dynarecyclerspi」復刻・加筆[2011-04-19]  
「afx\_run\_v2・afx4v」修正復刻・加筆[2011-04-13]  
加筆[2007~2009] MyWikiより転記[2007-04-13]

2011年4月以降に追記したコンテンツは「[あふwと連携 - 其弐](#)」に移動しました。旧「あふと連携」コンテンツに関しては、「あふw」での動作確認をしてから再公開する予定です。あくまでも予定。予定は未定。  
[Afx Wiki](#) をご覧頂いた方ががいいかも。

#### 【Attention】

• 当 wiki 内に出てくる設定例はあくまでも、あかしんちの参考例です。それぞれの環境に合わせて読み替え・書き換えてください。

- ちなみに、あかしんち（Windows XP）では、[システムのプロパティ]

[詳細設定][環境変数][システム環境変数]の[PATH]に「D:\bin」を追加、どこからでも使用する可能性があるプログラムは、そこ（D:\bin）に置いています。Unix ライクツールとか。

- 従って、あかしんちで「パスが通っている場所」とは（OSデフォルト以外は）

「D:\bin」のことであり、当 wiki 内では、実行ファイル名のみを記述しています。「path\to\hoge.exe」のようなパスの記述は、絶対パスを表しています。

- また、「あふw」以外からの利用 = コマンドプロンプトやランチャ等から

利用する場合、カレントディレクトリ・作業フォルダを指定することで引数に取るファイルのパスを認識できるツールが多いので、やってみてください。

---

## [K3KEYAFX](#) でAFXW.KEYをカスタマイズ

[K3KEYAFX](#) 0.07c(AFXW.KEY暫定対応キーカスタマイズツール)でAFXW.KEYを作成・編集するのが楽です。

[K3KEYAFX](#) 一式をあふwのディレクトリに置いて始めに、K3KEYAFX.DEF 6・7行目を編集して、AFXW.KEY用ににする。

```
[NAME]
#AFX.KEY
AFXW.KEY
```

後は、お好みのキーとコマンドを設定するだけ。自動で空いている番号に入れてくれる。



## 標準出力結果を内蔵テキストビューで閲覧

「あふ」・「あふw」の両方で動作確認済み。（以下、「あふw」と記載。）  
ただし、Unicodeはムリ？

## 準備

### afx\_run\_v2 Ver0.5を利用する場合

- 1 . afx\_run\_v2.exe を任意のフォルダに展開、実行  
afx\_run\_v2.ini が作成される
- 2 . afx\_run\_v2.iniに、リダイレクトするファイルの絶対パスと  
送信する閲覧用キーを指定（英数字・記号以外のキー名は{}で囲む）

afx\_run\_v2.tmp に出力された結果を閲覧する例  
送信する閲覧キーは F6

[AFX]

R.File= D: \ Application \ Filer \ afxw \ tmp \ afx\_run\_v2.tmp

V.Key= {F6}

- 3 . 「あふw」のキーを定義または AFX.KEY に設定  
リダイレクトファイル閲覧用のキー（例ではF6）に、  
afx\_run\_v2.iniで設定したR.File(リダイレクトファイル)のパスを指定する  
F6 :

&view \$~ \ tmp \ afx\_run\_v2.tmp

ファンクションキーを利用かつ表示している場合は表示名も設定

### afx4v 第壱拾貳版を使用する場合

- 1 . afx4v.exe を任意のフォルダに展開、実行  
afx4v.ini が作成される
- 2 . afx4v.ini を編集  
・ 「あふ」か「あふw」のどちらを利用するかを指定

AFXW=0 ; 「あふ」

AFXW=1 ; 「あふw」

- ・ R.File,(リダイレクトファイル名)
  - ・ V.Key(送信する閲覧キーまたは外部テキストエディタやビュー等のパス)
  - ・ AFX.P、AFXW.P(AFX.INIとAFXW.INIのパス)(どちらかしか使わなくても空欄は不可)
  - ・ S.key(外部テキストエディタやビュー等のパス、任意。)
- それぞれ指定。パスは絶対パス・相対パスどちらでもOK

afx4v.tmp に出力された結果を閲覧する例  
送信する閲覧キーは Ctrl+F8

[AFX]

R.File= ../tmp/afx4v.tmp

V.Key= ^{F8}

AFXW=1

AFX.P=AFX.INI

AFXW.P=../AFXW.INI

Title=

S.Key= D: \ Application \ Text\_Editor \ xyzzzy \ xyzzycli.exe

S.Title=

- 3 . 「あふw」のキーを定義または AFX.KEY に設定  
リダイレクトファイル閲覧用のキー（例ではCtrl+F8）に、  
afx4v.iniで設定したR.File(リダイレクトファイル)のパスを指定する。  
Ctrl+F8 :

&view \$~ \ tmp \ afx4v.tmp

ファンクションキーを利用かつ表示している場合は表示名も設定

- S.Key ( スペアキー ) を使用する場合は、起動オプション /s で指定する。

つまり、afx4v.ini に V.Key,S.Key 両方の指定があれば /s オプションによって閲覧キーや実行ファイル ( ビューア等 ) の使い分けが可能になる。  
組み合わせは自由。

以上を設定後は、afx\_run\_v2・afx4vと連携したツールが標準出力した情報は常に指定したリダイレクトファイルに書き込まれ、リダイレクトファイルを削除しなければ、指定した閲覧用キーで再閲覧も可能になる。

## pdfやdocを閲覧

以下、[afx\\_run\\_v2](#) または [afx4v](#) の準備ができているものとする。

- 1 . [xdoc2txt](#) を「あふw」のフォルダまたはパスの通ったところに置く。

- 2 . 「あふw」の拡張子判別実行に登録

拡張子 :

swx sxc odt ods odp docx xlsx pptx pdf xls doc rtf eml mht html

詳細はxdoc2txt.txtを参照のこと。

SHIFT+ENTERで実行するコマンド :

;afx\_run\_v2.exeまたはafx4v.exeのパス xdoc2txt カーソル位置のファイルパス

\$~ \ afx\_run \ afx\_run\_v2.exe xdoc2txt.exe "\$P \ \$F"

または

\$~ \ afx\_run \ afx4v.exe /d xdoc2txt.exe "\$P \ \$F"

/d : リダイレクトファイルを削除しない。

必要に応じてxdoc2txtのオプションを指定する。

- 3 . 「あふw」でファイル選択 Shift + Enter あふテキストビューアに結果表示  
[F6]または[Ctrl + F8]キーで再度閲覧OK

## mp3のエンコード情報・タグ情報を表示

加筆・修正[2011-04-13]/[2007-05-06]

「あふw」の拡張子判別実行またはファイル名判別実行に登録

- [metamp3](#) MetaMP3 v0.92 beta 5

EncSpotConsoleとmp3taginfoを併せたようなツール

;MP3タグ情報

\$~ \ afx\_run \ afx\_run\_v2.exe /d metamp3.exe \$MF

\$~ \ afx\_run \ afx4v.exe /d metamp3.exe \$MF

;MP3エンコード情報+タグ情報

\$~ \ afx\_run \ afx\_run\_v2.exe /d metamp3.exe --info \$MF

\$~ \ afx\_run \ afx4v.exe /d metamp3.exe --info \$MF

- [EncSpotConsole](#) (リンク切れ)
- [mp3taginfo.exe](#), [mp3infp.dll](#) (リンク切れ)

[mp3infp](#) 導入済みであれば mp3infp.dll は不要

## 画像情報を表示

修正[2011-04-13]/加筆[2007-04-17]

- [Nconvert](#)

### コマンドラインオプション

「あふw」の拡張子判別実行またはコマンドメニューに登録  
対応フォーマットはFormats.txtを参照

```
$~ \afx_run \afx_run_v2.exe /d nconvert.exe -info $MF  
$~ \afx_run \afx4v.exe /d nconvert.exe -info $MF
```

## MD5表示

追記[2011-04-18]

- [md5sum.exe](#)

「あふw」のキーを定義(ファンクションキーなど)またはAFX.KEY に設定  
コマンド:

```
$~ \afx_run \afx_run_v2.exe /d md5sum.exe "$P \ $F"  
$~ \afx_run \afx4v.exe /d md5sum.exe "$P \ $F"
```

拡張子を問わず実行したいツールは

[あふw設定(zキー)] [プログラム] [ファイルの実行コマンドライン]  
にしておくと便利。(「ユーザー定義メニュー」の例)

SHIFT + X :

```
$MP"$~ \ Menu \ all.txt  
$MN"$~ \ Menu \ all.txt
```

## お気に入り登録フォルダへ移動

修正・加筆[2011-04-19][2006-01-17]

あふの登録フォルダ([各種登録][フォルダ])とは別個に。

### [あふのぶっくまーく\(afxbkmk\)](#)

- 1 . afxbkmk.exe と afxbkmk.mnu を任意の場所に置く
- 2 . 「あふw」のキーを定義またはAFX.KEY に設定  
あふのぶっくまーく・メニュー表示用のキー(例ではF4)に  
afxbkmk.mnuのパスを指定する。

F4 :

```
&MENU "$~ \ afxbkmk \ afxbkmk.mnu"
```

- 3 . afxbkmk.mnu記載のafxbkmk.exeとafxbkmk.mnuへのパスを編集  
(afxbkmk.exeとafxbkmk.mnuがAFX(W).EXEと同じフォルダにある場合は変更不要)

afx ブックマーク

```
"add/delete" $~ \ afxbkmk \ afxbkmk "$~ \ afxbkmk \ afxbkmk.mnu" "$P \ \ "
```

```
"edit"      &EDIT "$~ \afxbkmk \afxbkmk.mnu"
```

#### 4 . afxbkmk.mnuにパスを登録する

- ・エディタで直接編集する場合

; 表示する名前 &CD(あふ内部命令) 登録するフォルダ名

```
"afx Dir" &CD "D: \Application \Filer \afxw \ "
```

```
"ゴミ箱" &CD "D: \Application \Filer \afx \ .RECYCLER"
```

- ・afxbkmk のメニュー (F4で呼び出し) の

"add/delete" でカレントフォルダを登録・登録解除可能

- ・コマンドプロンプトから

afxbkmk.exeがあるフォルダをカレントにして(CD)

; afxbkmk メニューファイル名 登録するフォルダ 表示する名前

```
afxbkmk afxbkmk.mnu E: \etc list
```

- ・新たなメニューファイルを別のキーに登録してメニューを使い分けることも可能。

```
afxbkmk Another.mnu E: \midi Midi files
```

- ・[&MENU][&PMENU]コマンドを使ってメニューの階層化も可能

```
"data" &PMENU $~ \ Menu \ data.txt
```

- ・メニューファイルを作成する場合は、1行目には必ず以下を記述すること。

```
afx hoge (メニュー名)
```

#### afxbkmk.mnuの例 (画像参照)

```
afx ぶっくまーく
```

```
"D: \Application \ " &CD "D: \Application \ "
```

```
"D: \bin \ " &CD "D: \bin \ "
```

```
"add/delete" $~ \afxbkmk \afxbkmk "$~ \afxbkmk \afxbkmk.mnu" "$P \ \ "
```

```
"edit" &EDIT "$~ \afxbkmk \afxbkmk.mnu"
```

```
"-----"
```

```
"(&1):afx Dir" &CD "D: \Application \Filer \afxw \ "
```

```
"(&2):archives" &CD "D: \archives \ "
```

```
"(&3):ゴミ箱" &CD "D: \Application \Filer \afx \ .RECYCLER"
```

```
"(&4):Data" &PMENU $~ \ Menu \ data.txt
```

パスの最後に[ ]を付けない場合は、そのフォルダの中には入らず、(親フォルダで)カーソルをあわせませす。

#### 5 . F4キーでぶっくまーくメニューを呼び出し、選択して移動します。



[らんちゃ機能対応 yuratomo 版「あふのぶっくまーく」利用のサンプルはこちら](#)

[らんちゃ機能対応 yuratomo 版「あふのぶっくまーく」](#)では、

通常の登録フォルダの拡張の他に、&EXEC コマンド(関連付け実行)を付加して

ファイルを登録可能で、簡易ランチャとしてメニューを作成できます。

但し、&EXEC では、実行ファイルに引数を指定して実行させる事はできないので

ショートカット・ファイルやバッチファイルを利用するとか、

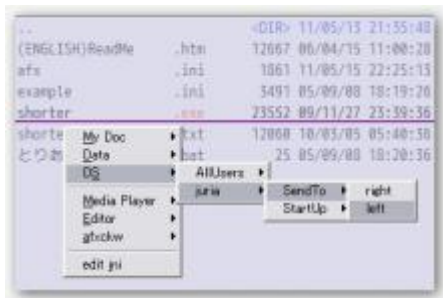
Shorter Launcher や Craft Launch 等のようなランチャーで。

## Shorter Launcher + Yet Another あふこまんど(w)

復刻・加筆[2011-05-13]

[Shorter Launcher](#)

[Yet Another あふこまんど/Yet Another あふこまんどw](#)



「あふ」利用の場合は「あふ」専用 yaafxcmd.exe を、  
「あふw」利用の場合は「あふw」専用 yaafxwcmd.exe を使います。  
詳細は、[@あれこれ-2007年5月](#) を参照のこと。

## あふでゴミ箱

あふwで動作確認[2011-04-18][2006-01-17]

ゴミ箱の中身を見るだけなら。

- 1 . [dynarecycler.spi](#) をSusie Plug-in用のフォルダに置く
- 2 . dynarecyclerに同梱の.RECYCLER を適当なところに置き、afxbkmkに  
.RECYCLERフォルダを登録（どこに置いたか忘れた時の為に）  
"ゴミ箱" &CD "D:\hoge \ .RECYCLER"
- 3 . 「あふ設定」 「プログラム(6)」 「Susie Plug-in の存在するフォルダ」を指定
- 4 . 「あふ設定」 「拡張子判別実行(7)」に以下を登録  
拡張子：RECYCLER  
Enter(E)：&S\_ARC dynarecycler.spi
- 5 . .RECYCLER上でEnter

## 窓パスの変更

復刻・修正[2011-05-28]

### fenrir からあふの窓パスを変更

[カチャカチャWindowsを使いたい-Fenrir編](#) - に詳しく説明されていますので  
そちらをご覧ください。

### GOw(GO for Windows) からあふの窓パスを変更

[GOw \(GO for Windows\)](#) 参照  
AFX.EXE のパスを AFXW.EXE にパスに書き換えれば OK

## あふ,あふwを外部から操作する

### [あふすくりぷた](#)

復刻・修正[2011-05-28]掲載[2009-09-14]

「あふ・あふw」をAutoHotkeyによって外部からコントロールするヘルパーライブラリ。関数を呼び出して「あふ・あふw」をコントロールする。

Ver 0.67 で「あふw」に対応。(2011-05-28 現在、ver.0.68 が最新版)

ただし、以下の例では、

「ahk\_class TAfxForm」と指定している部分を TAfxWForm に書き換えること。

「Yet Another あふこまんど」は、あふw対応版 yaafxwcmd.exe を使うこと。

また、[afxstatus.ahk](#) は「あふ」専用なので、そのままでは動作しません。

また、Ver 0.69 で「あふw」v1.50 (32bit版のみ)に対応されましたが、

v.1.31 以前の「あふw」・「あふ」v1.10 でのみ動作確認しています。(2011-10-31)

- [画像に属性をつけて at\\_picture に登録する例](#)

「あふ」でマークしたファイルパスの取得、キー送信など

- [指定したテキストファイルを「あふ」内蔵テキストビューワで閲覧する例](#)
- [ブックマークしたフォルダをジャンルごとにタブで管理、「あふ」で開く例](#)

「あふ」で表示中のパス取得、左右窓パスの変更、コマンドを送る ([ソース](#))

[画像](#)

## 「あふ」「あふw」を擬似タブ化

復刻・修正[2011-06-15]掲載[2009-09-14]

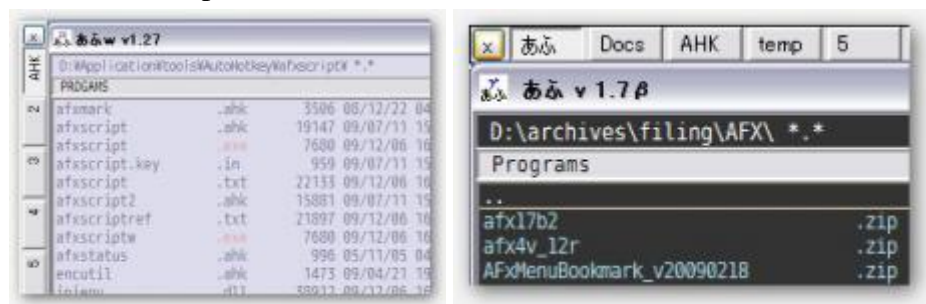
[「たふ」](#)

([あふすくりぷた Ver 0.60 以降](#) 同梱、または実行ファイル版)

Ver.0.67 で「あふw」に対応。

以下、「あふ」v1.10・「あふw」v1.27+「あふすくりぷた」v0.68版「たふ」で動作確認していますが、便宜上、「あふw」とだけ表記します。

「あふw」で表示したパスやマスク、ソートをタブごとに記憶、タブボタンによって切り替える(「あふw」を複数起動せずに状態を再現、「たふ」は「あふw」に追従。) 詳細は、afxscript.txt を参照のこと。



tafx.ahk, tafx.exe どちらの版でも tafx.ini の AfxPath を適切に設定する事。

### 使い方

- 1 . tafx.ini の AfxPath を自分の環境に変更  
必要なら、タブ数、タブ名、タブ位置、モディファイアキーを設定。未設定ならデフォルト)
- 2 . tafx.ahk または tafx.exe を起動後、記憶させたいタブを押し下げてから (モディファイアキー + 数字キー、またはマウスクリック)  
「あふw」でフォルダを移動すると、その左右窓パスが記憶される。
- 3 . 記憶させたタブ番号を押して「あふw」の窓パスを変更する。

( モディファイアキー + 数字キー、またはマウスクリック )

- tafx.ini でタブ名を独自に変更しても、モディファイアキー + 数字キーで移動可能
- タブの移動時に「あふ」が最小化など最前面になくても、表示窓の変更が可能で、

「あふw」をアクティブにすることができます。

- 「あふw」内蔵のテキストビューア・画像ビューアで閲覧中でもパスの変更が可能。

ただし、「あふw」の各種設定(2)で画像をフルスクリーン表示にしている場合で、かつ、「たふ」の表示位置を Top/Left にしてるとデスクトップ画面端の線(?)が気になります^^;

「あふw」「たふ」が背面にある状態(最小化ではない)から「たふ」をタスクボタンや Alt+Tab キーでアクティブにした場合に「あふw」がアクティブにならず「たふ」がアクティブになるのは、「たふ」にフォーカスを与えてキー操作を実現するための仕様とのこと。

「たふ」「あふw」が前面に無くて現在アクティブなタブや表示パスが視認できない、かつ「あふw」の窓パスを変えたくない時は、AutoHotkey の WinActivate コマンドや CraftLaunch の &WinActivate コマンド、AFXW.EXE に -s オプション付けて実行するとか、AFXCMD.EXE をパスの指定なしで実行するとか、「たふ」が張り付いている「あふw」の番号のみを指定して yaafx(w)cmd.exe を実行するなどして「あふw」を最前面にすると良いでしょう。「たふ」は追従しますから。

「クリップボード 指定されたファイルが見つかりません。を開けません。」とメッセージが出たときは、tafx.ini に記録した「あふw」の窓パスが変になっているので、エディタで tafx.ini を修正すると直ります。

## xyzyzy と連携

復刻・修正[2011-06-15]

### あふ・あふwで表示中のディレクトリを xyzyzy で Grep

外部から Grep ダイアログを呼び出して検索する  
[外部から Grepd・Gresregd](#) をご覧ください。

### ディレクトリーツリーを xyzyzy のカレントバッファに出力

[insert-directory-tree.l](#) を ~/site-lisp/ にコピーしておく。

```
~/xyzyzy か ~/site-lisp/siteinit.l に記述
;;; insert-directory-tree.l のロード
(autoload 'insert-directory-tree "insert-directory-tree" t)

; 外部から insert-directory-tree
(defun my-tree ()
  (while si:*command-line-args*
    (insert-directory-tree
     (pop si:*command-line-args*))))
```

あふwのキー定義(カーソルのある側の窓の場合)

```
path \ xyzzy \ xyzzycli.exe -f my-tree "$P"
```

[「あふw」で xyzzy](#)

---

以下、旧「あふと連携」記載のコンテンツ  
(? 今後復刻させる予定)

**WAVEをAAC-LC(.aac)にエンコード、MP4コンテナ格納**

**パスリストを書庫にみせかけて展開する**

[axpathlist.spi \(パスリストを書庫にみせかけて展開する Susie プラグイン\)](#)

**書庫ファイル操作**

[Ariadne](#)

書庫ファイル内のツリー表示に。

[ComArc - ArcConvert Commandline Version](#)

ArcConvert (各種アーカイバDLL・EXE同梱の書庫形式コンバータ)のコマンドライン版

---

9613